

金創出に向け協議していきます。12年間の学びや育ちをつなげるという目標に向かってこれまで以上に教育政策を強化し、教育を地域全体で包み込むように、新高浜小学校をモデルに、小学校区ごとの顔が見える地域づくりを進めていきます。

また、働きながら安心して子どもを産み育てることができるよう環境を整えるため、認定こども園化や定員拡大など、子育てを総合的に応援する体制を強化し、待機児童ゼロの実現をめざすとともに、出産後間もない時期に、赤ちゃんの健診のほか、お母さんのところからだの健康状態を把握するため、産後無料検診を実施します。

「活気と魅力があふれるまち」

に向けた未来投資

まちの魅力は、そこに住む人たちが磨きあげ育てるものと考えます。

市民の皆さん、とりわけ若者が『私のまち高浜市は』と一人称で語れるようなまちをめざし、将来の高浜を担う若者がまちとともに成長していく場として「わかもの未来会議」を創設します。また、かわら美術館や図書館のあり方も市民の皆さんと考えるながら、あらゆる世代の学習意欲・活動意欲を応援する「生涯学習基本構想」を、リニューアルします。

まちを支える地場産業、三州瓦の海外への販路拡大や伝統的工芸品の指定の支援を進めるとともに、市民の皆さんと育んできた市の特産野菜であるジャンボ落花生などの地域特産品のブランド化など農業振興も進めます。

さらに年々増加を続け、本年9月時点では総人口の約6%を占めるようになった外国人の方に対しても、インターネットなどを活用した多言語対応を進めていきます。

「安全で安心なまち」

に向けた未来投資

安全・安心の確保は市民生活にとって何よりも優先すべきものです。

皆さんと一丸となって培ってきた当市の地域防災力・防犯力は頼もしく向上していますが、近年頻発する集中豪雨や、各地で大きな被害をもたらした地震などの大規模災害に備え、「自助」「共助」「公助」に基づく役割分担と、相互連携のさらなる強化を図る必要があります。地域や企業と連携した災害時要支援者などへの対策を強化し、インターネットなどを活用した防犯・防災システムを研究し、さらにまちの底力の強化を図ります。

また、近年、全国的な課題とされる空き家問題ですが、課題である反

面、地域の資源ともなると捉え、その活用を検討します。

「みんなが助け合う笑顔あふれるまち」に向けた未来投資

誰もがその人らしくいつも笑顔でいられるよう、福祉・医療施策として、相談支援体制の充実と生涯現役のまちづくり、地域包括ケアシステムの構築を進めます。

具体的には、発達障がい等の専門教育を実施し現場で活躍できる人材育成を進めるとともに、認知症の医療や介護の専門的知識および経験を有する認知症地域支援推進員を配置し、認知症の理解促進や認知症の方や家族などへの相談支援体制を強化します。

生涯現役のまちづくりでは、高齢者が生きがいを実感しながら社会で活躍できるよう、例えば「健康自生地」でサービスを受ける側であった方が、自分の知識や技能を提供する側になるなど、高齢者がいきいきと活躍できる場の創出につとめます。

いわゆる団塊の世代が後期高齢者に達する時期には医療・介護の需要は確実に増え、一方で家族の介護力が低下します。とりわけ医療については、地域ニーズの状況に加え、将来的変動、人口の状況を踏まえてその実情に応じた医療体制を整える必

要があります。地域の中で医療と介護が連携し、在宅生活を支えていくため、医療法人豊田会をはじめ、市内医療関係機関や介護施設と、市民の医療と介護を支える地域包括ケアシステムを構築します。

おわりに

市民と行政の距離が近いという高浜市の強みをいかした協働のまちづくりを、市民の皆さんと地道に着実に進めてきたからこそ、未来を切り開く力が蓄えられてきたのだと確信しています。

今後ともより一層のご指導・ご協力を賜うことをお願い申し上げます。



市公式ホームページ 「市長室へようこそ」を リニューアルします

公務のなかで感じたこと、まちで皆さんとお話して感じたことなども、伝えることができればと思います。
高浜市公式ホームページ
<http://city.takahama.lg.jp>
トップページ「市の紹介」から
⊕市長室へようこそ をクリック